

情報広報委員会報告

委員長 関口 睦

1. 委員会

第1回情報広報委員会を6月7日に開催し、①全附P連と協力して、「附属だより」の原稿作成・編集にあたる、②効果的な情報収集の在り方について検討することを確認し、意見を交換した。その後、メールにて125号発行について確認をした。第2回情報広報委員会を10月1日にメール会議で実施し、第126号に係る原稿依頼方法及び作業方針について確認を行った。11月11日の第2回理事会において広報委員会から①附属だより125号の発行の報告と126号発行の進捗状況の報告を行った。

2. 附属だより

1) 125号(令和7年7月発行)

「附属学校園の在り方を考える」をテーマに下記の4校園の取組を掲載した。

- ①大阪教育大学附属池田中学校 生成AI活用の可能性 ～生成AIを活用した中学校国語・英語の「書く力」の向上をめざす授業実践から～
- ②東京学芸大学附属竹早中学校 「好きに、挑む」ことができる未来の学校の創造
- ③埼玉大学教育学部附属中学校 部活動の価値を未来につなぐ挑戦 ～子どもと教員のWell-beingのために～

- ④香川大学教育学部附属幼稚園 「働きやすさ」と「働きがい」が感じられる職場づくりを目指して

2) 126号(令和7年12月発行)

「子どもの育ちと学びを支える」をテーマに下記の4校園の取組を掲載した。

- ①香川大学教育学部附属高松中学校 自らを高め続け、新たな時代に向けて責任をもち行動する人間の育成 ～知性と省察性を育むカリキュラムを通して～
- ②山梨大学教育学部附属特別支援学校 高等部の交流及び共同学習について
- ③兵庫教育大学附属学校園 「子ども発達支援医」と「スクールロイヤー」の配置 ～子どもたちと教職員の「Well-being」をめざして
- ④お茶の水女子大学附属小学校 伝統を礎に明日の教育を創る

3) 掲載協力校のデータベース化

依頼から編集までの期間が短いため、候補となる学校の情報を事前に集め、依頼する学校を絞り込めるように今年度からリストを作成している。掲載協力校が地区や校種に偏りがないようにするためにも、継続してデータを蓄積していくことが必要である。